

# ラポール *Rapport*

第5号 2005.10

◇ 『ラポール』は、人間同士（学生&教職員&地域住民&県民）のつながりを意味します ◇

**Rapport** : フランス語で、関係・関連・類似点

## 目 次

図書館長就任にあたって	附属図書館長	松江 一	..... 2
図書館でのアルバイトを通して	社会福祉学科2年	向 奈津美	..... 4
発掘！図書館の魅力！	看護学科2年	湊 志乃	..... 5
最先端技術を生み出す創造へのいざない（読んでみませんか？先生からのおすすめ本）	理学療法学科	佐藤 秀一	..... 6
電子ジャーナルの使い方（シリーズ図書館を使いこなそう第5回）			..... 7
企画展示「特集ケアマネジメント」・開館時間のお知らせ			..... 8

## 生命の絆・森のかたち



本学のキャンパス内のモニュメント、第3弾です。「水・命そして記憶」は、講堂の前の木々の中にひっそりと建つモニュメントです。製作者の土屋公雄氏は次のように語ります。

「水」は、人類を含むあらゆる生命体の母体であると同時に、私たちの心を癒すものである。地球の最初の生命は、およそ30数億年前に、原始の海より誕生したとされている。

従って私たちが「水」を感じる時、なぜか心が落ち着くのは、身体のどこかで太古の記憶を蘇らせているのだろう。

（青森県立保健大学開学記念1999 あおもり野外彫刻展Ⅲ

「生命の絆・森のかたち」引用

## 図書館長就任にあたって

### -イカスミの研究と学術、情報及び媒体-

附属図書館長 松江 一



鈴木孝夫館長の後を受け、平成17年4月1日より就任しました。ここで図書館全体像について言及することは僭越なので、小生がこれまで関わってきた自然科学の天然物有機化学や生化学、それに地域食資源を活用した産業支援などの研究開発を例に図書館や情報媒体との携わりについて述べたい。

小生がこれまで一年以上利用した施設は、弘前大学、北海道大学、カナダ・ブリテッシュコロンビア大学、青森県産業技術開発センター、それに青森県立保健大学の図書館である。与えられた環境の中で資料集めたためそれほど苦労した記憶はないが、ライブラリアンがいるかどうかは受けるサービスに大変大きな差があったように思う。

小生の分野での図書館の利用は、以下のような利用方法が圧倒的に多かった。即ち、1) 何か新たなテーマを始めようとする時、2) 解らないことが発生した時、そして、3) 現在やっていることを論文等にまとめようとする時、等である。そこで小生がやっていた「イカスミの研究」を例にとり、具体的に話を進め、図書館に関するいくつかのキーワードを考えてみたい。

何故イカスミを研究することになったかは、今から17年前、産学官共同研究を立ち上げていた時、日本一のイカの水揚げ地である八戸を中心とする水産業界から、水産加工廃棄物であったイカ内臓の有効利用という社会的な要請テーマがあがっていたからである。このため、イカ内臓、水産物加工廃棄物の有効利用、高付加

価値化、産学官共同研究推進等のいくつかのキーワードが必要であった。

しかし、イカ加工廃棄物はスミ袋だけでなく軟骨、皮、軟甲、内臓など様々なものがあり、すぐにイカスミの研究に進んだのではない。そこは小生の専攻分野、天然物有機化学と生化学が大きく影響していた。天然物有機化学は、低分子の有機化合物の構造とその生理活性を研究する学問であり、日本では野依良治先生のノーベル賞受賞で一躍脚光を浴びた分野である。小生、青春の一時期、強力な抗がん剤であるビンクリスチン、ビンブラスチンという低分子の有機化合物の研究を海外のグループで行い、抗がん剤、副作用等、社会的にニーズの高いテーマの科学的根拠の証明がいかに重要であるかを学んだ。

もう1つの生化学は、あらゆる生物の生命科学を分子レベルで探究する学問であり、遺伝子、蛋白質、酵素、糖質、脂質、ミネラル等その範囲は限りなく多様である。このうち血液型多糖のO型決定基や、海藻（もずく）の構成糖であるフコースという糖質の生理的意義や、生体のムコ（粘性）多糖を研究する機会を得、新たな学問の風を感じていた。さらに、なぜか日本及び世界のトップの研究者がコンドロイチン硫酸等のムコ多糖の1つの研究材料としてイカを使用していたのだ。しかも、小生の尊敬するお茶の水女子大学の故瀬野信子先生が、イカの皮にコンドロイチン硫酸Eを世界に先駆けて発見、注目されていた。

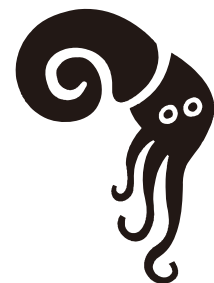
我々は先生の追試を八戸に水揚げされたイカの皮で確認したが、それでは物足りず、さらにイカ皮、内臓、骨、軟甲、イカスミ等全ての臓器についてのコンドロイチン硫酸をチェックすることにした。そして思いもかけずあの黒いイカスミの中に、これまでのコンドロイチン硫酸とは全く異なる新規な構造のフコース含有ムコ多糖、イレキシンを発見するにいたった。1994年トロントで行われた国際会議で、亡くなる数年前の瀬野先生に「イカスミの多糖の発表大変面白いですね」と言われた時のうれしさは忘れない。この構造決定は約5年の紆余曲折があるのだが、1996年に *Biochem. Biophys. Res. Commun.* に新規構造が記載された。ここでイカスミ、コンドロイチン硫酸、フコース含有ムコ多糖、イレキシンのキーワードが加わり、研究に携わった二人が博士の学位を取得した。

イカスミの新規物質は学問的には意味はあるが、食品としての利用拡大や多くの人に知ってもらうには、物質的に裏付けされた生理機能や活性を持つことが高付加価値化につながるだろうと漠然と考えていた。そこで結核菌の腫瘍免疫の研究で、気を許せる飲み仲間と尊敬する先輩、弘前大学佐々木甚一先生に移植癌マウスにイカスミサンプルを投与する実験を依頼し、インターフェロン以上の有効性を得た時の衝撃は、食資源の実験動物を用いる研究の重要性を深く感じた。ここで高付加価値化、抗腫瘍活性、実験動物、食資源、分子レベル等のキーワードが加わるようになった。

振り返ってみるとイカスミ多糖が本当に新規か否かや、抗腫瘍活性の面で新規なものであるか否かは、一昔前は図書館で丹念な論文チェックが必要であり、今ではPubMedやデータベース等の電子媒体の利用から明らかになる。また、論文の投稿も論文自体の郵送から電子メールでの投稿に変わり、レフェリーの裁定で publish される。このように学術的な情報は多少難解な

専門用語、図表などをまじえ論文として後世にまで残される。一方、イカスミが郷土の家庭薬膳料理として沖縄全土で既に定着していた事は、この研究が「地域おこしの事例」として紹介されて以後、琉球大学の学生や先生の手紙で初めて知り、食材と人、健康と地域性の深いつながりと、その歴史の重みを痛感した。それに加えて現在は新聞、テレビ、雑誌、インターネット等の各種媒体が解りやすく、時には「おい、おい、大丈夫かい」と思うほどに過激にインパクトを持って一般の人々に広めていく。

今後、私たちは良きにつけ悪きにつけ、専門分野の学術情報とそれを一般の人に解りやすく伝えるメディア情報の二つとの付き合いは避けられないだろう。なぜなら、世の中の人々は、かつてないほど、健康、人生、生き方をマイルドにしかも科学的根拠に基づいて、自身がその方向を選択決定したいという意識を持ち始めているからではないだろうか。



# カウンターの内側から 図書館で働いてみて

## 図書館でのアルバイトを通して



社会福祉学科 2年 向 奈津美

私は、図書館でのアルバイトをするのは今回が初めてでした。カウンターでの仕事は、初めはうまくできるかどうか少し不安もありました。しかし、職員の方が仕事を一つひとつ教えて下さいました。また、私がいまいちわからないことがある時、職員の方に尋ねると笑顔で対応して下さい、そのおかげで仕事にも少しずつ慣れていきました。

これまで私は、図書館を利用する立場でしかありませんでした。図書館へ行くと職員の方がカウンターや本の返却の仕事をしている姿がよく見えますが、実際にどのようなことをしているか、また、その大変さなどは知りませんでした。しかし、今回仕事をしてみてそれらがよくわかりました。

特に、カウンターに返却された本を棚に戻す作業というのは、私の予想以上に大変なものでした。それは、私がアルバイトをしたときに本の返却冊数が多かったことが大変だと感じた理由の一つです。しかし、それだけではありませんでした。棚に戻すときは、ただ本を並べるのではなく、一冊一冊を番号順に並べなければなりません。また、すでに棚にある本も番号順になっているか確認していく必要があったからです。

棚を見てみると、本の番号がばらばらになっ

ており、また、棚の脇にただ積み重ねられているものも多くありました。これでは、図書の場所を検索してもその場所に借りたい本がなく、見つけれないということになってしまいます。実際に、借りたい本があるが見つけれないということで、職員の方に尋ねる人もいます。この作業をするまでは、これほど大変だと考えてもいませんでした。

このようなことから私は、本を棚に戻す作業は、時間もかかるけれども、図書館を利用する人のためにも欠かせない作業なのだと改めて感じました。また、借りた本は元の場所に戻すということの大切さも実感しました。図書館を利用するときは、次の利用者のことも意識することで、より多くの方が有効に利用できるのではないのでしょうか。

私は、図書館でのアルバイトを通し、図書館を利用するだけでなく、実際に仕事することで今まで気づかなかったことに気づくこともでき、私にとって、とても貴重な経験となりました。今回の経験を忘れず、これからも図書館を利用していきたいと思います。



## 発掘！図書館の魅力！

看護学科 2年 湊 志乃



私はこの3月に図書館で約2週間のアルバイトをしました。仕事内容としては返却された本を元の棚に戻したり、各社の新聞を所定の位置に配置したり、パソコンで本を検索したり、書庫の本を一斉にずらしたり、新しい本にラベルを貼ったりとさまざまでした。座っているだけの仕事ではなく、力仕事もあり、私がいつも見る、図書館の司書の方々の普段カウンターで座っている涼しげな姿というのは、ほんの一部であるということを知りました。

図書館の業務で一番好きだった仕事は配架業務でした。返却された本を元に戻す作業で、一見、単純な作業のように見えて実は奥が深い。それはいろんな本と出会うことができるからです。戻ってきた本はもちろんのこと、棚に戻すときに目に留る本は、他の大学の卒業論文集、たくさんの種類の医学雑誌、書庫にある洋書、小説、医療系とはまったく関係のない本など、こんな本もあったのかと思わされる本がいくつもありました。

それまでの図書館の利用法といえばレポートの文献探しや与えられた課題に対する調べをするといったような感じでしたが今回のアルバイトをきっかけに図書館を利用する回数が増えました。私は大学入学前、仕事をしたのですが、仕事へ行く前にコーヒーを飲み、一息つく為に、よくカフェに立ち寄っていました。学生になってからの私にとって図書館はそのカフェのような感覚で利用しています。授業の前、少しの間だけでも図書館に立ち寄り、新聞を閲覧したりなど一息ついてから授業へいくというよ

うな感じで、図書館は身近な存在になりました。

図書館で働いてみてから図書館の利用方法が変わったことがもう一つあります。それは希望図書システムの利用です。これはこの図書館の魅力で、ここの大学の学生の特権ではないでしょうか。どうしても読みたい本がある、大学の図書館にはない、そして、市民図書館にも県立図書館にもない。学生なので本を買う余裕がない。でもどうしても読みたい。という状況になった時はこの希望図書システムをお勧めします。このシステムは全ての図書を購入してもらえるとというわけではないのですが、自分が読みたい本を希望図書として申し込むと、医療系以外の本でも購入してもらえます。私は今、韓国に興味があるので先日、韓国に関する本を希望し、その本を借りることができました。

まだまだ、魅力的な図書館のサービス、利用方法があります。皆さんもこれからどんどん図書館へ行き、魅力を捜し出してみてください。たくさん出てくると思います。

今回、利用する側の視点からではなくて、その逆の視点から図書館を見ることができ、たくさんを知ることができました。これからはいろいろな角度から図書館の魅力を発掘していきたいです。



# 読んでみませんか？先生からのおすすめ本

## 最先端技術を生み出す創造へのいざない

書名：『素人のように考え、玄人として実行する』  
著者：金田武雄  
出版：PHP研究所 2003.6



理学療法学科助教授 佐藤 秀一

著者はわが国のトップクラスの研究者集団である独立行政法人産業技術総合研究所のデジタルヒューマン研究センターのセンター長であり、マサチューセッツ工科大学、スタンフォード大学とともにコンピュータ・サイエンスの御三家といわれるカーネギーメロン大学のコンピュータ科学科とロボット研究所の教授でもあります。アメリカ大陸自動運転横断ロボット、自分で判断して飛ぶヘリコプター、スーパーボールで使われたアイビジョン・システム（プレーの周りをぐるっとまわっているように見せる新しいビデオ再生システム）などの先進開発の中心的役割を果たし、人工知能、ロボット工学の世界的権威として、もっともアメリカで注目されている研究者のひとりです。わくわくするような研究のオンパレードですね。

デジタルヒューマン研究とは、人間の動作、形状、行動などを計測してコンピュータ上に再現する手法を用いて、ロボットの開発や個人に適合する生活用品の開発と評価などを研究する分野です。異分野横断的研究として保健医療、福祉にも通じていまして、本学には同センターと同じ機種 of 3次元動作解析装置があります。研究や学部と大学院の授業で活用され、動作分析や福祉機器の開発に役立っています。

著者の意図は、『本当に頭のよい人間は、複雑に考えるのではなく単純に直線的に解答を導き出すのだ』というように明解なものです。印象的な教えをあげてみましょう。「メッセージのある研究をしろ」「最後までやりきれば、失敗のパターンもわかる」「集中力とは、自分が問題そのものになること」「できるやつほど迷うものだ」「日本人にアイデアがない、というのは嘘である」「できない、から次が始まる」「玄人発想、素人実行、これはまずい」「発想はすなおに、実行は緻密に」「それくらいなら自分でも考えたのに、と言う前に考えて欲しい。世の賞賛を勝ち得る発想の多くは、きわめて単純明快なものだということを」

当たりまえのようで、実はなるほど！と思わせる説得力のある文章が、経験談と圧倒的な研究実績に基づいて書かれています。

「創造力」「知的体力」を養う技術書としていかがでしょうか。

### 本の配架場所

図書館 3階開架

請求記号：141.5||Ka43



## 電子ジャーナルの使い方

### ◆ 電子ジャーナルとは？

インターネットで見られる学術雑誌です。図書館にあるプリント版との違いは、

- ①図書館の外からでも見られる（一部学内限定）
- ②複数の利用者が同時に利用できる
- ③キーワードや著者名などからの検索機能がある、ということです。

### ◆ 利用時の注意

大量のダウンロードは禁止されており、違反すると全学利用停止になります。

初めて利用される時は、図書館ホームページの「電子ジャーナル」に掲載されている「公正利用の注意」を必ずご一読ください。

### ◆ 電子ジャーナルを使ってみましょう！

電子ジャーナルが提供されているかどうかを調べるためには、次の4つの方法を試す必要があります。それぞれ提供雑誌が異なります。

#### A. 電子ジャーナルリストから探す場合（学内限定）

図書館ホームページの「電子ジャーナル」をクリックすると、アルファベット順のリストが表示されます。雑誌名の後に表示される数字は、閲覧できる雑誌が発行された年です。このリストに掲載されている雑誌のほとんどは、プリント版を図書館で閲覧することができます。

#### B. CINAHL のジャーナルリストから探す場合（学内限定）


図書館ホームページの「データベース検索」の「CINAHL」をクリックし、画面中央の「Journal」という青いアイコンの下の「ジャーナル検索はこちら」をクリックすると、アルファベット順のリストが表示されます。リストに「全文」と表示されている雑誌は、その場で全文を閲覧できます。

#### C. 紀要や学協会誌を探す場合

図書館ホームページの「電子ジャーナル」をクリックし、画面の一番下までスクロールすると、「紀要・研究成果など」という項目があります。

- ・「CiNii」…画面左側の「ディレクトリ」から探すと便利です。（有料雑誌は閲覧できません）
- ・「研究紀要全文」
- ・「J-STAGE」（有料雑誌は閲覧できません）

#### D. PubMed の検索結果から閲覧する場合

PubMed を検索していると、検索結果一覧画面で  というアイコンが表示されることがあります。これは、無料で全文を提供されている論文です。詳細画面から「Free Full Text」と書かれているアイコンをクリックすると、論文を閲覧することができます。

## —企画展示「特集ケアマネジメント」—

2005年10月から、図書館1階エレベータ横の書架でテーマ別展示を始めました。学生のみなさんは、「〇〇についての本を探しているのに、どうして図書館では一箇所にも揃っていないの?」と不思議に思った経験がありませんか? 図書館では、一つ一つの図書の内容ごとに分類しているため、同じキーワード(検索の手掛かりとなる言葉)を持つ図書でも、同じ棚に並んでいるとは限りません。テーマに対する視点によって、分類が異なります。この企画展示は、普段分類によって離ればなれになっている資料を一箇所に展示することで、このテーマに興味がある方に資料との出会いのチャンスを広げていただきたいという試みです。

今回の特集である「ケアマネジメント」というキーワードの場合、ケアマネジメントの対象やケアマネジメントを行う職種などによって次のような分類になります。

<内容と分類番号>

高齢者に対するケアマネジメント	369.26
精神障害者に対するケアマネジメント	369.28
看護職の在宅ケアマネジメント	492.993
ケアマネジャー試験	369.17 など

テーマに関連する和書だけでなく、洋書、雑誌も並んでいます。この機会に、是非ご利用ください。

### 《開館時間のお知らせ》

無印は9:00~21:00、■は9:00~16:45、□は休館です。

2005年10月							2005年11月							2005年12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5					1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
30	31																			

2006年1月							2006年2月							2006年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28					26	27	28	29	30	31	

青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第5号 平成17年10月発行

発行：青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1 TEL:017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/>

この印刷物は500部作成し、印刷経費は1部当たり126円です。